

i 避難情報の種類ととるべき行動

警戒レベルを用いた避難情報

避難情報等(警戒レベル)				河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報※4)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1	5 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示※2	4 相当	氾濫危険情報 土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難※3	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難 行動を確認	大雨・洪水・高潮 注意報(気象庁)	2 相当	氾濫注意情報 —
1	今後の気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)	1 相当	— —

- ※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令します。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
- ※4 河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報など(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

## 避難に関する3つの情報

災害の危険が迫っての避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。  
3種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

### 警戒レベル5 緊急安全確保

既に災害が発生しているか又は災害が発生直前であったり、どこかで既に発生していてもおかしくなく、安全な避難が難しい状況

- 命が危険な状況ですので、ただちに安全な場所で命を守る行動を取りましょう。
- 自宅の2階以上や、崖から離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保するようにしましょう。



### 警戒レベル4 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況

- 住民はただちに避難をおこないましょう。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取りましょう。



### 警戒レベル3 高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況

- 避難するのに時間がかかる高齢者など避難行動要支援者やその支援者は避難を始めましょう。
- 通常の避難行動ができる方は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めましょう。



## 自主避難について

### 危険を感じたらすぐに避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。  
その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、自主避難場所などへ自主的に避難しましょう。

※自主避難場所の開設状況は、市のホームページなどで確認してください。

